

特定健診・特定保健指導の 推進のための効果的な研修の実際①

～愛知県国保連合会が行う研修～



愛知県

愛知県国民健康保険団体連合会
保健事業課 河合美子

1

本日の内容

- 1 愛知県国保連合会の組織体制
- 2 愛知県との連携体制
- 3 愛知県国保連合会が実施している保健事業
- 4 特定健診・特定保健指導研修会の経緯
- 5 愛知県国民健康保険の特定健診・特定保健指導実施状況
- 6 国保保険者を対象とした研修会の取り組み
研修の企画・実施・評価
～データを活用し効果的な事業の
実施に向けて～

2

1 愛知県国保連合会の組織体制

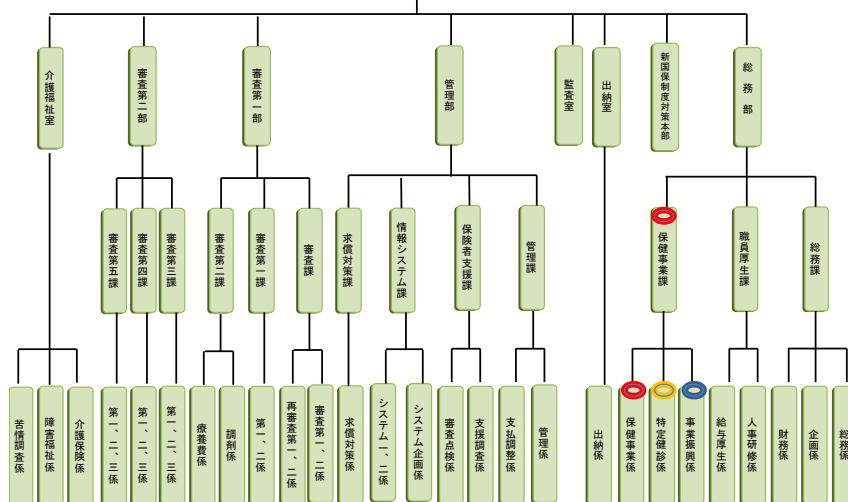
(1) 会員

愛知県内 54 市町村国保及び 6 国保組合
計 60 保険者
(含む 政令市 1、中核市 3)

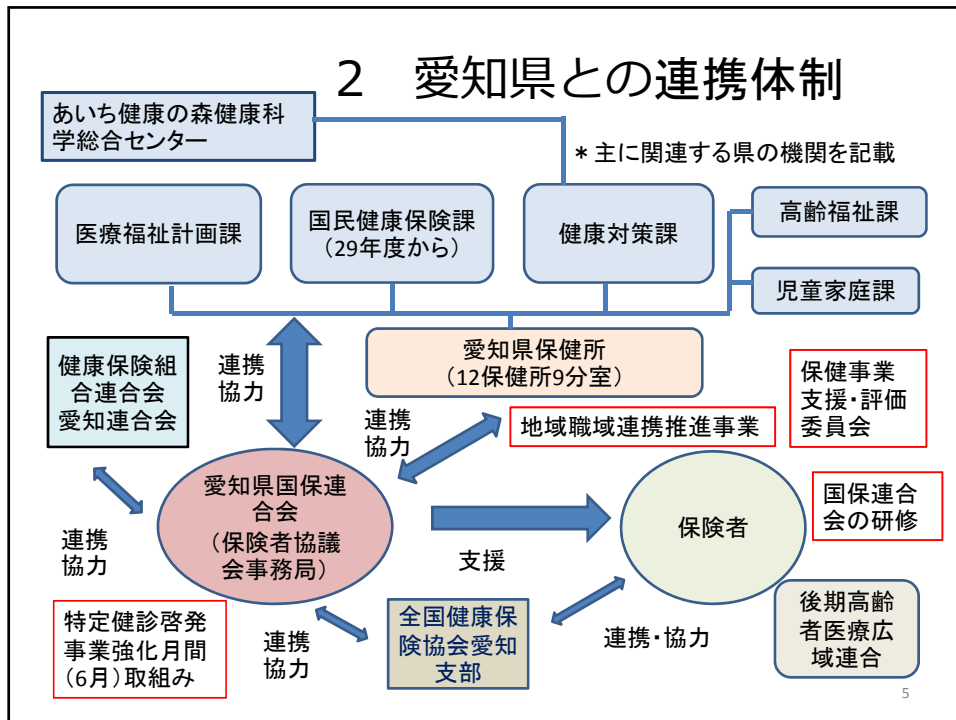
国保加入者 1,993,920人(H28.4.1)
被保険者平均年齢は49.8歳
市町村人口 7,399,058人
市町村国保被保険者加入率28.3%

(2) 愛知県国保連合会の組織体制

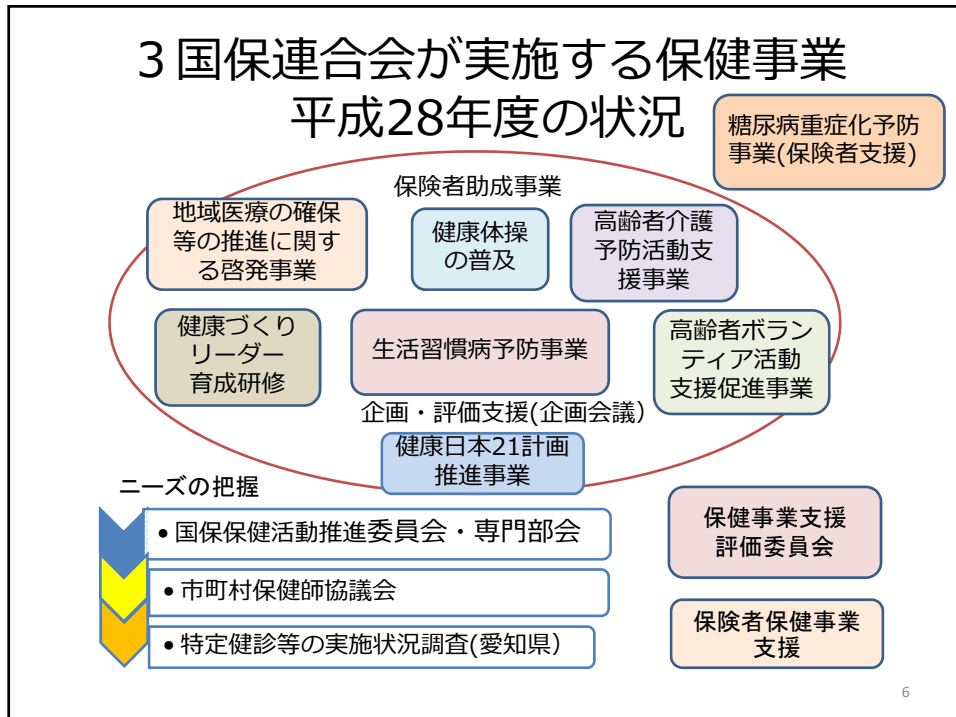
平成29年4月1日職員数235人
保健事業課：職員13人、
嘱託・派遣 8人（うち保健師 4）



2 愛知県との連携体制



3 国保連合会が実施する保健事業 平成28年度の状況



4 特定健診・保健指導研修会の経緯

年度	愛知県	国保連合会	内容
平成 19 20		特定健診・保健指導研修会 (6回) ←→ 共催 計画策定・情報交換	特定健診等実施計画策定について 情報交換、実施体制調査結果報告(県) 国立保健医療科学院・国保中央会研修復命 特定健診・保健指導事業の基本的な考え方 事例を通して保健指導を考える アウトソーシングの進め方
平成 21	計画・ 評価編	特定健診・保健指導従事者 スキルアップ研修会 (2回) ←→ 共催	国立保健医療科学院の復命(県・連合会) 20年度の特定健診・保健指導事業の成果と 課題 医療費データ分析事業等連合会の支援事業 メタボの食事と運動療法(講演)
平成 21		スキルアップワーキング (5回) 対象：市町村(国保・保 健)国保組合、県保健所	特定健診・保健指導事業の成果を上げるため に20年度の特定健診・保健指導を振り返る 行動変容につながる保健指導(個別支援) 集団アプローチ-行ってみたくなる教室の企 画と運営の実際(講義・ロールプレイ) 21年度の実施結果から成果と課題、22年度 に向けて

* 県が実施する研修は研修プログラムに基づく研修会 基礎編・評価編

7

年度	愛知県	国保連合会	内容
平成 22	* 県 (委託) 実施	スキルアップワーキング (4回) 事例相談会2回 ← 協力(基礎編・評価編)	①集団アプローチを学ぶ～行ってみたく なる教室の企画(講義・演習) ②参加者が楽しく納得のいく教室運営のコ ツ(講義・演習)、保健指導の具体的な 展開(集団アプローチ) ③④個別指導「対象者のやる気を引き出し 行動変容をうながす」その1、その2 ・腹囲測定(演習) 事例相談
平成 23	県 (委託) 実施	スキルアップワーキング (5回) 事例相談会1回 ← 協力(基礎編・評価編)	①楽しくてやめられなくなる保健指導 ～総論編、実践編 運動・栄養～ ②運動の習慣化～その気にさせる極意 (講義・演習) ③糖尿病から生活習慣病の重症化予防を考 える、食行動を変える保健指導のポイント ④脳科学から見た特定健診・保健指導 ～リバウンドを防ぐ生涯の健康づくり～ ⑤特定健診・保健指導の評価

8

年度	愛知県	国保連合会	内容
平成24	県 (委託) 実施	スキルアップワーキング (5回) ← 協力 (基礎編・評価編)	<ul style="list-style-type: none"> ① 特定健診・保健指導の評価～PDCAサイクルは順調に回っていますか？ ② 事例発表「特定健診受診率UP大作戦～わがまちの秘策おしえます～」 ③④ 効果UP！満足度UP！チーム力UP！の保健指導目指して（事例検討・講義・演習）前編・後編 ⑤ 健康づくり継続の鍵は脳にある！
平成25	県 (委託) 実施	スキルアップワーキング (4回) ← 情報提供 (基礎編)	<ul style="list-style-type: none"> ①④ ソーシャルマーケティングを生かした地域の健康づくり～特定健診受診率・保健指導実施率アップにむけて～ part1・part2 実践（ちらし作成、使用後の評価） ② 循環器疾患発症・重症化のメカニズムと予防～健診結果の効果的な伝え方～事業発表（他県の先進的な事例） ③ 行動科学に基づいた特定保健指導～禁煙支援と幅広い対象に有効な支援の実践（講義・演習）～

9

年度	愛知県	国保連合会	内容
平成26	県 (委託) 実施	スキルアップワーキング (4回) 対象：市町村 （国保・保健）国保組合 後期高齢者医療広域連合 県保健所 ← 情報提供 (基礎編)	<ul style="list-style-type: none"> ① はじめてのレセプト分析～読み方・分析・活用方法、重症化予防に向けた活用（講義・演習） ② ステップアップ特定保健指導事業（講義・演習） 「効果が見える！課題が見える！事業評価をやってみよう」 「効果アップ！食生活支援のポイント」 ③ 実践編：はじめてのレセプト分析 重症化予防に向けた活用（講義と演習） ④ ステップアップ特定保健指導事業～スモールステップを振り返り、分かち合いPDCAを着実に進めよう～（グループ内発表・代表による取り組みのプレゼンテーション）

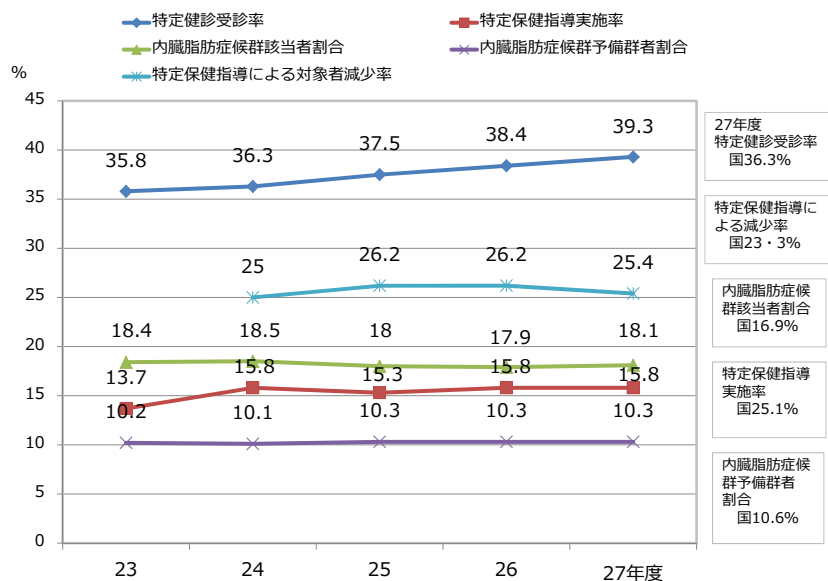
10

年度	愛知県	国保連合会	内容
平成27	県(委託)実施	効果的な保健事業に向けた研修会(5回 12日) 研修を一本化 KDB, AI Cubeの活用及びデータヘルス計画策定支援 *対象に市町村の介護担当者を追加	① KDB、AI Cubeの基本操作・帳票活用に関する研修(6回) ② KDB、AI Cubeの読み解き・活用研修 はじめてのレシピ分析～読み方・分析・活用方法、生活習慣病の重症化の流れを予防の視点でレシピ情報から学ぶ(講義・演習)(3回) ③ レシピ情報の活用-集団の健康課題の把握や事業計画に役立てる(講義・演習) ④ データを活用した効果的なプレゼンテーション(講義・演習) ⑤ 効果の出る栄養指導実践スキル講座-食生活が確実に変わる支援(講義・演習)
平成28	県の調査結果を情報提供 県(委託)実施	効果的な保健事業に向けた研修会(5回)	① KDB、AI Cubeの基本操作研修(6回) ② KDB、AI Cubeの読み解き、活用(3回) ③ ステップアップ特定保健指導事業～評価方法と改善計画立案を徹底マスターしよう～ ④ 特定保健指導事業～行動変容を促すグループファシリテーション ・健康対策課からの情報提供(調査結果報告) ⑤ 食生活を確実に変える支援方法(講義・演習)

← 情報提供(基礎編) →

11

5 特定健診・特定保健指導実施状況



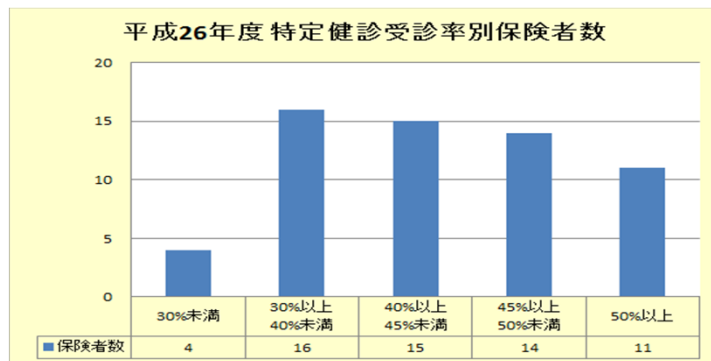
12

平成26年度 特定健診受診率

愛知県：38.4% (37.5%)

<受診率内訳>
・市町村国保：38.2% (37.3%)
・国保組合：40.9% (39.2%)
<最大値、最小値>
・最大：59.6% (61.1%)
・最小：21.2% (23.7%)
<H25年度との比較>
・受診率Upした保険者数：44

注) カッコ () 内は、H25年度の%を表示



13

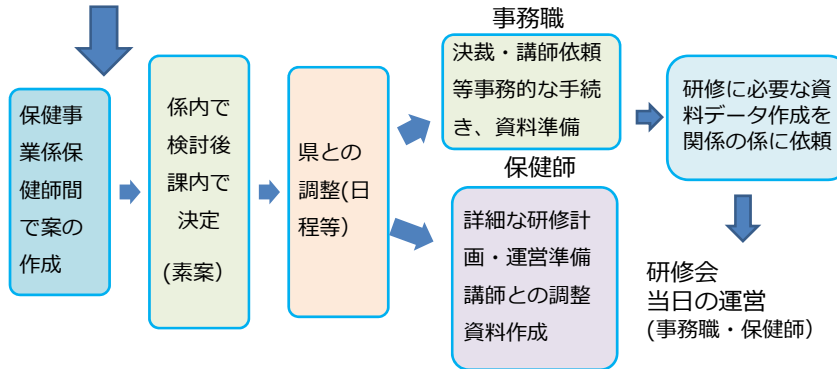
6 国保保険者を対象とした 研修会の取り組み

－研修の企画・実施・評価－
データを活用し効果的な事業の実施
に向けて

14

(1) 研修の企画

- ニーズの把握
(研修実施後アンケート、会議・研修会での意見)
- 特定健診・特定保健指導結果(法定報告)で課題を把握
- 支援評価委員会参加保険者の状況から課題把握



15

(2) 27年度企画にあたっての課題把握

- 前年度(26年度)の研修事後アンケート結果から
レセプトを活用したケース検討が難しかった
→ ケースを厳選し、理解度を高める
東三河地域からの参加が少ない
→ 研修会場を三河地区でも開催
- 特定健診等の実施状況調査結果(愛知県健康対策課実施)
特定健診・保健指導法定報告、保健活動推進委員会での意見から
特定健診実施率、保健指導終了率の伸び悩み
→ 保健指導の実際 食生活改善支援
KDBやAI Cube活用、帳票の見方がわからない
→ 操作、読み解き研修の充実
関係者と共有して、取組むことが難しい
→ データを使ったプレゼンテーション

16

- 26年度支援評価委員会での保険者の発言、課題
データヘルス計画の策定手順がわからない
課題の抽出が難しい
課題を見るのにどのデータを見たらよいかわからない
➔ 健康課題の分析の手順・演習
- 保健事業実施報告書から
個別保健事業の目標に対する評価指標や評価方法が明確に
設定されておらず、適切に評価がされていない事例がある
➔ 評価の手順（支援評価委員会及び個別支援）

17

（3）研修の評価 視点

- 研修目標の達成状況の把握（研修実施後アンケート）
- 事前課題の提出状況や実施状況
- 研修会の中での参加者の発言、演習・グループワークの取り組み状況
- 研修会終了後講師とのミニカンファレンス
- 研修会終了後カンファレンス及び実施報告書の作成と課内供覧
- KDBシステム、AI Cubeの活用状況把握
- 研修事後の実践状況の把握（課題の達成状況）

18

(4) 研修目的・目標・対象・内容

目的：

- 健診・医療情報等を活用した保健事業計画の策定や、効果的な事業展開に向けて、本会が提供するシステムを活用するための基礎的技術を習得する。

- システムから得られる情報の背景を多角的に捉える能力や事業関係者とビジョンを共有するための説明能力、効果的な保健指導技術等実践力の強化を図る。

19

目標：

- ① K D Bシステム及びA I Cube の内容と操作方法を理解できる
- ② データから地域の健康課題を読み取ることができる
- ③ データの背景を多角的に捉えることができる
- ④ データを事業計画や評価に活用できる
- ⑤ 事業実施体制整備のためにデータを活用する方法がわかる
- ⑥ 関係機関、部署、所属長等への効果的なプレゼンテーション方法がわかる
- ⑦ 保健指導効果を高める技術を習得できる

20

評価方法:

- 事前課題の提出状況
- 参加状況：参加者数、参加保険者割合
- 研修中の参加者の反応
 - 受講時の様子、演習の取り組み状況
 - 発言・活気
- 受講後のアンケート
 - 理解度、満足度、感想、今後の取り組みへの意欲
- 受講後の実践成果の確認
 - システム活用状況
 - 翌年度の保健事業計画や実績報告内容の充実
 - データヘルス計画策定への反映状況

21

(5) 研修プログラム 27年度

第1回 6月 1回コース6クール

KDBシステム及びA I C u b eの基本操作

対象：市町村（国保・保健・介護）担当職員、国保組合
後期高齢者医療広域連合職員

第2回 7月

初めてのレセプト分析

～読み方の解説から保健活動への活用まで～

対象：市町村（国保・保健）・国保組合の特定健診・保健指導
の企画担当及び保健指導従事者（保健師、管理栄養士
等） 県保健所職員

第3回 9月 1回コース3クール

KDBシステム及びA I C u b eの読み解きと活用

対象：市町村（国保・保健・介護）担当職員、国保組合
県保健所職員 後期高齢者医療広域連合職員

22

第4回 10月

データを活用した効果的なプレゼンテーションの方法と実践
～特定健診・特定保健指導事業の効果的な実施体制整備に
向けて～

対象：市町村（国保・保健）、国保組合の特定健診・
保健指導の企画担当及び保健指導従事者
（保健師、管理栄養士等）、県保健所職員

第5回 11月

ステップアップ特定保健指導事業

～これなら実践できる！行動変容につながる保健指導～

対象：市町村（国保・保健）、国保組合の特定健診・
保健指導の企画担当及び保健指導従事者
（保健師、管理栄養士等）、県保健所職員

23

（6）評価例①参加者数、保険者参加率

研修 テーマ	参加 者数	参加 保険 者数	保険者 参加率 (%)	市町村 国保 参加率 (%)	国保 組合 参加 者数	保健 所 参加 者数
①システム操作研修	99	49	81.7	88.9	1	対象外
②レセプトの基本と保健 事業への活用	66	42	70.0	77.8	0	1
③KDB, A I C u b e 帳票の読み解きと活用 (3回分)	111	51	85.0	92.6	1	7
④データを活用したプレ ゼンテーション	49	39	65.0	70.4	0	2
⑤保健指導のスキル向上 食生活支援	59	43	71.7	79.6	0	2

24

評価例② 第3回

KDB, A I C u b eシステムの読み解きと活用

実施評価 (アウトプット)	企画評価 (ストラクチャー・プロセス)
<p>受講者111人 51保険者(市町村国保50 国保組合1) 保険者参加率85% 保健所職員7 後期高齢者医療広域連合 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模保険者や国保組合の参加が少ない。 ➡ 担当者が少なく、業務が重なり参加できないのか、会場を近くにしても参加できていない保険者がある。 支援方法を集合研修以外にも設定する必要がある。 ・国保組合は課題が異なるため、組合向けの内容を企画することも必要である。 	<p>受講者アンケート結果や発言：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修の組み立てが「市の背景」➡「詳細なデータ」➡「課題」➡「対策とつながり」と順序立てて分析し、対策を考えるという一連の企画は有効で、適切。 ・説明資料がわかりやすい、丁寧な説明だった。 <p>担当意見：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・26年度の研修の評価に基づき、帳票説明の情報を絞り込み、分析の流れの習得に集中したプログラムとし、資料や手順を見直し改善できた。 ・スタッフが受講者個々の進捗状況を見ながら、サポートしたり、進行役に伝えることで全体の進度に合わせた演習ができた。

25

評価例② 第3回

KDB, A I C u b eシステムの読み解きと活用

結果評価 (アウトカム)
<p>目標①データから地域の健康課題を読み取ることができる。 アンケート自己評価：しっかり把握できたを4点とし、4点、3点の割合は91.7% 発言からも把握できたという声が多かった。➡ほぼ達成できた。 2点の理由：結果の要因は、社会的背景や環境の影響も大きいのでここからだけでは導き出せない、県との比較で特徴が見いだせなかったなど。➡前提として県の特徴を共有する必要がある。</p> <p>目標②データの背景を多角的に捉えることができる。 アンケートや発言：他市町村や他分野の状況や視点を知り、気づきや解決へのヒントを得た。➡多角的な視点の養成につながった。</p> <p>目標③データを事業計画や評価に活用する方法がわかる。 事前アンケート結果：「活用していない」79人(73.1%)理由は、「何に活用できるかわからない」と27人が回答。 受講後アンケート結果：「活用したい」90人(83.3%)その内容は、「データヘルス計画策定」15人、「保健事業の策定・評価」22人「健康課題の把握・抽出」13人、「生活習慣病重症化予防」6人、記載があった。この手順でデータヘルス計画を作ることができる等の意見があったことから目標③の理解や意欲につなげることができたと考えられる。質問項目の「事業計画は健康課題にあったものか」について「あっているが不足、見直しが必要」19人、「事業の課題が見えた」9人、等の意見から計画へのデータ活用の視点を養成することができたと考えられる。</p>

26

評価例② 第3回

KDB, A I C u b eシステムの読み解きと活用

総合評価・所感

- ・目標①から③を概ね達成できた。
- ・研修の企画にあたり、昨年度の反省点や別に市町村保健師協議会の支部の勉強会や栄養士会から依頼されたデータ分析や読み解きに関する研修結果から改善点を見出し、企画に活用できた。
- ・昨年度の評価に基づき、保健医療科学院や連合会のモデル事業の助言者から学んだ要素を加えて企画し、職種や係をまたいで検討・資料作成できた。
- ・今回の受講者に対しての受講者のスキルアップや意識づけにつながったと思われるが、関係者全体の意識や体制に及んだ支援が重要で、同様な研修を継続実施していく必要がある。

参考：28年度は5回を企画

操作研修、データ読み解き、事業評価、集団指導の運営
(ファシリテーション)、食生活を確実に変える支援

27

第3回研修 事後アンケート



平成27年度「KDBシステム及びA I C u b eの読み解きと活用」研修 (9月15日・16日・18日) アンケート

本日は、研修会へのご参加ありがとうございました。
研修についての感想や要望についてお聞きし、連合会事業の評価、今後の研修企画の参考にいたしますので、アンケートへのご協力をお願いします。

1 所属 (市町村関係・市町村保健衛生・市町村介護・国保組合・その他) 職種 (事務職・専門職)

2 KDB・A I C u b eの活用状況についてお聞かせください。(複数回答可)

- (1) 該当するものに○を付けてください。
- ア 活用している
- イ あまり活用していない (理由)
- a 操作がわかりにくい b 何に活用できるかわからない
- c 帳票類の見かたがわからない d 業務多忙で、時間がない
- e 独自システムで活用できるものがあるのであまり必要性を感じない
- f その他 (⇒具体的に)

(2) 研修に参加して、これからKDB・A I C u b eを活用しようと思えますか?

- ア 活用したい ⇨ (* 具体的にどのようなことに活用したいか、もしくはその理由)
- イ 活用できない
- ウ どちらともいえない

3 演習「KDB帳票等からわがまちの地区(集団)特性の把握」について

(1) 個人ワーク(シートの記入)について該当する番号に○を付け、理由や感想をご記入ください。

よく理解できた 理解できなかった (* 理由や感想)

4 3 2 1 ⇨

(2) 個人ワークとグループワークを通して、わがまちの健康課題を把握できましたか?

しっかり把握できた 把握できなかった (* 理由や感想)

4 3 2 1 ⇨

4 「地区(集団)特性の把握から事業計画を考える」について

(1) 事業計画は、地区(集団)の特性や健康課題に合ったものでしたか?

- ア 特性や健康課題に合っている ⇨ (* 具体的な気づきや感想)
- イ 特性や健康課題とは合っていない
- ウ 判断しかねる

5 本日の研修に参加しての満足度にお付けください。またその理由や感想をご記入ください。

とても満足 ← → 不満 (* 理由や感想)

10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

6 国保連合会に対してのご意見、研修へのご要望等がありましたらご記入ください。

ご協力ありがとうございました

28

評価例③ システム活用状況

～受講前後アンケート、ログ調査、データヘルス計画書より～

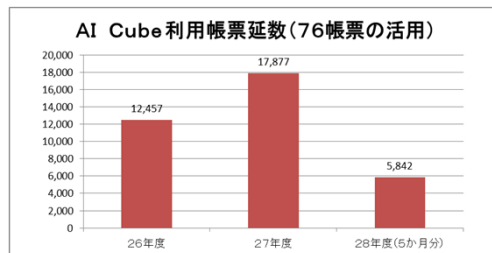
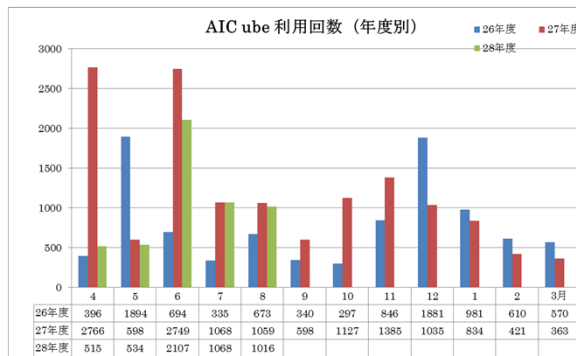
保健事業計画
・
実施

事業
評価

体制
づくり

- ①データヘルス計画策定のための基礎資料
- ②生活習慣病予防・重症化予防事業対象者の健診・医療情報把握
- ③個別保健事業（糖尿病、高血圧、脂質異常）対象者の把握
- ④特定健診未受診者対策
- ⑤CKD対策
- ⑥生活習慣病の有病状況把握
- ⑦特定健診・保健指導事業の評価
- ⑧会議・議会等の資料

29

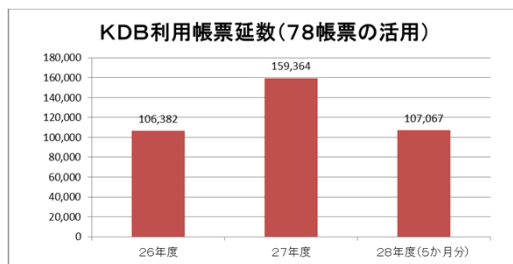


対象60保険者
主に利用されている帳票

- ①年齢階級別被保険者医療受診状況（一般疾病、生活習慣病保有状況）
- ②特定健診結果集計表（血圧、血糖、脂質リスク別）
- ③特定健診受診状況一覧（過去5年間の受診パターン年齢階級別状況）
- ④男女別年齢階級別人口及び被保険者数
- ⑤特定健診受診率一覧
- ⑥一般疾病と生活習慣病の一人当たり入院医療費
- ⑦年齢階級別入院医療費の状況
- ⑧男女別年齢階級別医療受診状況ごとの健診受診率

* 赤字は研修で説明し、使用した帳票

30



対象60保険者

- ・ 6、7、9、10月の研修後に利用回数増加
- ・ データヘルス計画策定保険者の活用度が高い
- ・ 年々利用回数が増加
- ・ 主に利用されている帳票

- ①生活習慣病全体のレセプト分析
(厚労省様式3-1)
- ②被保険者管理台帳
- ③レセプト検索情報
- ④地域全体像の把握
- ⑤個人別履歴
- ⑥基準額以上となったレセプト一覧
(厚労省様式1-1)
- ⑦健診・医療・介護データからみる地域の健康課題
- ⑧医療費分析(細小分類)

おわりに

【研修内容の企画・評価】

- ・ 保険者の実態把握：様々な機会に「できていること」「できていないこと」「困っていること」を知る。
➔ 研修内容に組み込む 意見交換や演習で体験 要因を考察 連合会の支援の仕組みやシステムの充実のための素材
- ・ 既存の研修(事業)の振り返り
目標や評価の視点、指標を明確にする
次の企画に活かす PDCAサイクルを意識
- ・ 関係者で共有し、事務職・保健師含めて企画・評価を協議
視点が広がり、お互いの役割を明確にする
- ・ 集合研修で補えない部分の補完方法を用意しておく
個別支援

【企画・実施者の資質向上】

- ・ 他県連合会や関連する他機関の研修情報をキャッチ
- ・ 県との連携
- ・ 連合会職員の人材育成 研鑽の場を持つ

御清聴 ありがとうございました

健診は一日、
健康は一生



33

参考

- KDBシステム及びAI Cubeの概要

34

KDBシステム及びAI Cubeの概要

(1) KDBシステムの特徴

地域（集団）の健康状況の把握

- ・医療、介護の受給状況を通じた個人の健康状態が把握でき、経年データを見ることで健康状態の変化がわかる。
- ・データ全国水準の把握や同規模保険者等の比較ができる
- ・疾病別医療費や介護給付費の推移を見ることで対策の効果がわかる

保健事業の充実

健康づくり・保健活動の支援

- ・健康情報に加えレセプトを見ることで、より優先度の高い対象の選定が容易になる
- ・保健指導に必要な健診、医療、介護情報が経年的に、個人単位の台帳として管理できる

健やかで安心して暮らせる地域づくり

疾病別医療費分析の充実

- ・複数病名の把握により、リスクの重なる疾病の分析が容易になる

国保や介護保険の安定的運営

35

(2) AI Cubeの概要 (H26.3月KDBシステム同時稼働)

KDBシステムと同じデータを使用し、簡単なボタン操作で、条件を変更して分析ができる。分析結果を、リアルタイムにグラフで表示し、県・医療圏・他市町村と比較できる。自保険者の状況は、個人情報まで閲覧できる。

- ・県・医療圏・他市町村と比較する ⇒ 集団の特性、健康課題の把握ができる
- ・個人情報まで閲覧する ⇒ 重症化予防としての支援に活用できる

『帳票』機能について

- 帳票を参照する2つの機能
- ・ExcelService (エクセルサービス)
 - ・WebReport (ウェブレポート)

表示するグラフ、Excelへのエクスポート(データ引継)等が出来るのは同じだが機能面に違いがある。

	Excel Service	Web Report
個人情報の参照	×	○
保険者間の参照	他保険者も参照可	自保険者のみ参照可

36



帳票の機能としては、切り口を変えた**2つの機能**を提供している

【ExcelService(エクセルサービス)の画面】

任意の保険者のデータが参照可能

ボタンひとつでグラフの集計条件の切替が可能

選択した保険者と比較が可能

年齢階級	生活習慣病	一般疾病	重複	計
30-34歳	75	199	404	711
35-39歳	128	218	589	786
40-44歳	64	211	560	919
45-49歳	73	228	567	1,000
50-54歳	2,391	7,804	14,012	18,009
55-59歳	6,528	11,925	13,472	21,925
60-64歳	11,472	18,009	18,009	27,490
65-69歳	18,009	18,009	18,009	36,018

保険者	生活習慣病	一般疾病
尾道東区医療圏	434,862	443,839
尾道市	386,717	426,764
尾道中地区医療圏	376,809	376,809
尾道北地区医療圏	376,809	376,809
尾道西地区医療圏	376,809	376,809
尾道南地区医療圏	376,809	376,809
尾道北地区医療圏	376,809	376,809
尾道南地区医療圏	376,809	376,809
尾道西地区医療圏	376,809	376,809
尾道東地区医療圏	376,809	376,809

【Web Report(ウェブレポート)の画面】

該当人数の一覧(個人明細)を表示することが可能

年齢階級	生活習慣病	一般疾病	医療未受診	計
0-4歳	4	6	0	10
5-9歳	8	8	0	16
10-14歳	8	4	0	12
15-19歳	8	0	0	8
20-24歳	8	0	0	8
25-29歳	8	0	0	8
30-34歳	20	20	0	40
35-39歳	46	51	0	97
40-44歳	60	68	0	128
45-49歳	113	107	0	220
50-54歳	287	287	0	574
55-59歳	44	56	0	100
60-64歳	151	90	0	241
65-69歳	619	281	0	900

KIDID個人番号	国民健康保険証番号	国民健康保険番号	国民健康保険年次月	国民健康保険失年月日	性別	生年月日	氏名(カナ)	氏名(漢字)	氏名(英)
2300001126	したた	たけ	平成24年3月31日		男性	昭和37年4月10日	たけ たけ	たけ たけ	TAKE TAKE
2300001173	したた	たけ	平成24年3月31日		男性	昭和37年4月10日	たけ たけ	たけ たけ	TAKE TAKE
2300001461	したた	たけ	平成24年3月31日		男性	昭和37年4月10日	たけ たけ	たけ たけ	TAKE TAKE